



平成 25 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 ハマキョウレックス
代 表 者 の 代 表 取 締 役
役 職 氏 名 社 長 大 須 賀 秀 徳
(コ ー ド 番 号 9 0 3 7 東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 執 行 役 員 山 崎 裕 康
管 理 本 部 長
(T E L . 0 5 3 - 4 4 4 - 0 0 5 4)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 25 年 7 月 26 日付の「当社元従業員による不正行為に係る調査結果について」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 23 年 10 月 27 日に発表いたしました「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線____を付して表示しております。

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 大須賀 正孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 日比野 稔 TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,864	8.0	3,179	7.5	3,193	0.5	1,642	9.6
23年3月期第2四半期	41,558	9.1	2,956	26.0	3,177	40.3	1,498	41.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,831百万円 (7.1%) 23年3月期第2四半期 1,710百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	196.57	—
23年3月期第2四半期	179.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	85,591	26,456	26.7
23年3月期	85,283	24,826	25.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,819百万円 23年3月期 21,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
24年3月期	—	19.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年10月27日)公表いたしました「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	5.2	6,400	10.4	6,350	5.0	3,200	12.8	383.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,356,000 株	23年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,642 株	23年3月期	2,582 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,353,384 株	23年3月期2Q	8,353,497 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による低迷から徐々に回復しつつあるものの、欧米の財政不安や、歴史的な円高により先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、国内貨物の輸送需要は回復基調にありますが、燃料価格の高騰など引き続き予断を許さない状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第2四半期連結累計期間は、営業収益448億64百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益31億79百万円（同7.5%増）、経常利益31億93百万円（同0.5%増）、四半期純利益16億42百万円（同9.6%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、211億1百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は、25億70百万円（同7.4%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼働したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、7社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた12社のうち9社稼働しております。残りの3社につきましては、10月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加により、69センターとなりました。

引続き全員参加、コミュニケーション、日々決算（収支日計）を徹底して行い、更なる収支改善に向け取組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、237億63百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は、6億7百万円（同8.1%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、前連結会計年度に取得した連結子会社の増加と、東日本大震災以降の物量回復による増加であります。

近物レックス㈱の取組みにつきましては、平成23年6月より、全幹線車両（563台）にデジタルタコグラフを導入し、燃料使用量の抑制、輸送品質の向上を図っております。これにより、幹線車両の燃料費を月額約7百万円削減いたしました。

当社との取引につきましては、平成23年7月より、新たに近物レックス㈱の設備（大阪）を利用した当社の物流センターの業務を開始いたしました。こうした取組みにより、当社と同社との取引額は、目標である「月額1億円以上」を継続して達成しております。今後も、当企業グループ内の設備・配送網等の有効活用により、グループ全体での採算性の向上を図ってまいります。

これらの取組みにより近物レックス㈱の営業利益は、前年同期に比べ1億2百万円増加しております。今後も、更なる収支改善に向け、毎月の支社別営業会議への本社役員の参加の他、毎週定例の支社長会議実施により、営業収益の確保、外注費及び日々決算（収支日計）の管理強化を進めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（当第2四半期の状況）

当企業グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億8百万円増加し

855億91百万円となりました。主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が5億53百万円増加し、有形固定資産の減少等により固定資産が2億44百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比13億21百万円減少し、591億35百万円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金の減少等により流動負債が11億45百万円、長期借入金の減少等により固定負債が1億76百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比16億29百万円増加し、264億56百万円となりました。これは主に、四半期純利益16億42百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の25.0%から26.7%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済への不安や欧州の財政問題が重なり、依然として先行き不透明であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター事業（3PL事業）を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当企業グループでは、「近物レックス㈱の経営改善」をグループ全体での重要課題とし、継続して経営改善を進めてまいります。

平成24年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益900億円（前年同期比5.2%増）、連結経常利益は63億5千万円（同5.0%増）、連結当期純利益は32億円（同12.8%増）を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約37百万円の影響となります。また借入金利の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間22百万円の影響となります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,083,325	4,007,907
受取手形及び売掛金	10,926,016	11,679,427
商品	9,121	17,945
貯蔵品	170,555	142,965
その他	1,292,357	1,187,220
貸倒引当金	△42,779	△43,609
流動資産合計	16,438,596	16,991,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,883,831	24,413,925
土地	34,399,126	34,450,324
その他(純額)	3,734,850	3,955,728
有形固定資産合計	63,017,808	62,819,978
無形固定資産	2,024,507	2,040,578
投資その他の資産	3,802,315	3,739,421
固定資産合計	68,844,632	68,599,978
資産合計	85,283,228	85,591,836
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861,064	6,003,527
短期借入金	28,149,857	26,866,943
未払法人税等	1,338,184	1,275,879
賞与引当金	589,294	550,051
役員賞与引当金	47,926	25,508
その他	3,940,553	4,059,844
流動負債合計	39,926,881	38,781,755
固定負債		
長期借入金	10,676,012	10,288,628
退職給付引当金	5,135,237	5,085,882
役員退職慰労引当金	359,940	335,560
その他	4,358,580	4,643,694
固定負債合計	20,529,770	20,353,765
負債合計	60,456,651	59,135,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	13,392,372	14,875,658
自己株式	△7,698	△7,847
株主資本合計	21,381,129	22,864,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,329	△44,407
その他の包括利益累計額合計	△46,329	△44,407
少数株主持分	3,491,776	3,636,456
純資産合計	24,826,577	26,456,315
負債純資産合計	85,283,228	85,591,836

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	41,558,044	44,864,737
営業原価	37,487,004	40,586,373
営業総利益	4,071,040	4,278,364
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	22,062	3,856
役員報酬	234,727	230,255
給料及び手当	269,913	275,711
賞与引当金繰入額	33,721	35,803
役員賞与引当金繰入額	24,904	26,041
退職給付費用	15,138	13,989
役員退職慰労引当金繰入額	18,820	14,360
その他	495,211	499,338
販売費及び一般管理費合計	1,114,500	1,099,356
営業利益	2,956,539	3,179,007
営業外収益		
受取利息	1,202	952
受取配当金	16,976	27,562
負ののれん償却額	101,529	101,529
助成金収入	261,747	24,211
雑収入	159,719	129,076
営業外収益合計	541,175	283,333
営業外費用		
支払利息	255,362	214,936
雑損失	64,393	54,382
営業外費用合計	319,755	269,318
経常利益	3,177,959	3,193,021
特別損失		
投資有価証券評価損	106,911	9,103
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	119,041	—
損害賠償金	38,588	—
保険解約損	—	11,279
災害による損失	—	9,024
特別損失合計	264,541	29,407
税金等調整前四半期純利益	2,913,418	3,163,614
法人税、住民税及び事業税	1,176,277	1,186,353
法人税等調整額	40,984	151,168
法人税等合計	1,217,262	1,337,522
少数株主損益調整前四半期純利益	1,696,156	1,826,091
少数株主利益	198,000	184,090
四半期純利益	1,498,155	1,642,000
少数株主利益	198,000	184,090
少数株主損益調整前四半期純利益	1,696,156	1,826,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,321	5,641
その他の包括利益合計	14,321	5,641
四半期包括利益	1,710,477	1,831,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,518,246	1,643,922
少数株主に係る四半期包括利益	192,230	187,810

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	物流センター事業	貨物自動車運送事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に対する営業利益	19,825,600	21,732,444	41,558,044	—	41,558,044
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	70,969	822,274	893,243	△893,243	—
計	19,896,569	22,554,719	42,451,288	△893,243	41,558,044
セグメント利益	2,393,288	561,765	2,955,054	1,485	2,956,539

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	物流センター事業	貨物自動車運送事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に対する営業利益	21,101,507	23,763,229	44,864,737	—	44,864,737
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	240,223	823,957	1,064,181	△1,064,181	—
計	21,341,731	24,587,187	45,928,918	△1,064,181	44,864,737
セグメント利益	2,570,012	607,019	3,177,031	1,975	3,179,007

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません

[訂正後]



平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 10 月 27 日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス

コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 山崎 裕康 TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成 23 年 11 月 10 日 配当支払開始予定日 平成 23 年 12 月 2 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期の連結業績(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	44,779	8.2	3,093	11.4	3,107	3.6	1,590	20.3
23 年 3 月期第 2 四半期	41,378	8.6	2,777	18.4	2,998	32.4	1,322	25.1

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 2 四半期 1,780 百万円 (16.0%) 23 年 3 月期第 2 四半期 1,534 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 2 四半期	190.39	—
23 年 3 月期第 2 四半期	158.32	—

(2) 連結財務状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	85,267	26,131	26.4
23 年 3 月期	85,010	24,553	24.8

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 2 四半期 22,495 百万円 23 年 3 月期 21,061 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	17.00	—	19.00	36.00
24 年 3 月期	—	19.00	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成 23 年 10 月 27 日)公表いたしました「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	5.6	6,400	17.3	6,350	11.3	3,200	24.8	383.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期 2Q	8,356,000株	23年3月期	8,356,000株
② 期末自己株式数	24年3月期 2Q	2,642株	23年3月期	2,582株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期 2Q	8,353,384株	23年3月期 2Q	8,353,497株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による低迷から徐々に回復しつつあるものの、欧米の財政不安や、歴史的な円高により先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、国内貨物の輸送需要は回復基調にありますが、燃料価格の高騰など引き続き予断を許さない状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第2四半期連結累計期間は、営業収益447億79百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益30億93百万円（同11.4%増）、経常利益31億7百万円（同3.6%増）、四半期純利益15億90百万円（同20.3%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、210億15百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は、24億84百万円（同12.2%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼働したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、7社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた12社のうち9社稼働しております。残りの3社につきましては、10月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加により、69センターとなりました。

引続き全員参加、コミュニケーション、日々決算（収支日計）を徹底して行い、更なる収支改善に向け取組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、237億63百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は、6億7百万円（同8.1%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、前連結会計年度に取得した連結子会社の増加と、東日本大震災以降の物量回復による増加であります。

近物レックス㈱の取組みにつきましては、平成23年6月より、全幹線車両（563台）にデジタルタコグラフを導入し、燃料使用量の抑制、輸送品質の向上を図っております。これにより、幹線車両の燃料費を月額約7百万円削減いたしました。

当社との取引につきましては、平成23年7月より、新たに近物レックス㈱の設備（大阪）を利用した当社の物流センターの業務を開始いたしました。こうした取組みにより、当社と同社との取引額は、目標である「月額1億円以上」を継続して達成しております。今後も、当企業グループ内の設備・配送網等の有効活用により、グループ全体での採算性の向上を図ってまいります。

これらの取組みにより近物レックス㈱の営業利益は、前年同期に比べ1億2百万円増加しております。今後も、更なる収支改善に向け、毎月の支社別営業会議への本社役員の参加の他、毎週定例の支社長会議実施により、営業収益の確保、外注費及び日々決算（収支日計）の管理強化を進めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（当第2四半期の状況）

当企業グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億56百万円増加し

852億67百万円となりました。主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が5億1百万円増加し、有形固定資産の減少等により固定資産が2億44百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比13億21百万円減少し、591億35百万円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金の減少等により流動負債が11億45百万円、長期借入金の減少等により固定負債が1億76百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比15億78百万円増加し、261億31百万円となりました。これは主に、四半期純利益15億90百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.8%から26.4%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済への不安や欧州の財政問題が重なり、依然として先行き不透明であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター事業（3PL事業）を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当企業グループでは、「近物レックス㈱の経営改善」をグループ全体での重要課題とし、継続して経営改善を進めてまいります。

平成24年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益900億円（前年同期比5.6%増）、連結経常利益は63億5千万円（同11.3%増）、連結当期純利益は32億円（同24.8%増）を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約37百万円の影響となります。また借入金利の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間22百万円の影響となります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,083,325	4,007,907
受取手形及び売掛金	10,450,568	11,114,070
商品	9,121	17,945
貯蔵品	170,555	142,965
その他	1,494,943	1,428,107
貸倒引当金	△42,779	△43,609
流動資産合計	16,165,734	16,667,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,883,831	24,413,925
土地	34,399,126	34,450,324
その他(純額)	3,734,850	3,955,728
有形固定資産合計	63,017,808	62,819,978
無形固定資産	2,024,507	2,040,578
投資その他の資産	3,802,315	3,739,421
固定資産合計	68,844,632	68,599,978
資産合計	85,010,366	85,267,366
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861,064	6,003,527
短期借入金	28,149,857	26,866,943
未払法人税等	1,338,184	1,275,879
賞与引当金	589,294	550,051
役員賞与引当金	47,926	25,508
その他	3,940,553	4,059,844
流動負債合計	39,926,881	38,781,755
固定負債		
長期借入金	10,676,012	10,288,628
退職給付引当金	5,135,237	5,085,882
役員退職慰労引当金	359,940	335,560
その他	4,358,580	4,643,694
固定負債合計	20,529,770	20,353,765
負債合計	60,456,651	59,135,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	13,119,510	14,551,188
自己株式	△7,698	△7,847
株主資本合計	21,108,267	22,539,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,329	△44,407
その他の包括利益累計額合計	△46,329	△44,407
少数株主持分	3,491,776	3,636,456
純資産合計	24,553,715	26,131,845
負債純資産合計	85,010,366	85,267,366

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	41,378,761	44,779,109
営業原価	37,483,430	40,583,133
営業総利益	3,895,330	4,195,976
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	25,635	7,096
役員報酬	234,727	230,255
給料及び手当	269,913	275,711
賞与引当金繰入額	33,721	35,803
役員賞与引当金繰入額	24,904	26,041
退職給付費用	15,138	13,989
役員退職慰労引当金繰入額	18,820	14,360
その他	495,211	499,338
販売費及び一般管理費合計	1,118,073	1,102,596
営業利益	2,777,256	3,093,379
営業外収益		
受取利息	1,202	952
受取配当金	16,976	27,562
負ののれん償却額	101,529	101,529
助成金収入	261,747	24,211
雑収入	159,719	129,076
営業外収益合計	541,175	283,333
営業外費用		
支払利息	255,362	214,936
雑損失	64,393	54,382
営業外費用合計	319,755	269,318
経常利益	2,998,676	3,107,394
特別損失		
投資有価証券評価損	106,911	9,103
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	119,041	—
損害賠償金	38,588	—
保険解約損	—	11,279
災害による損失	—	9,024
過年度不正関連損失	112,229	—
特別損失合計	376,771	29,407
税金等調整前四半期純利益	2,621,905	3,077,986
法人税、住民税及び事業税	1,176,277	1,186,353
法人税等調整額	△74,862	117,149
法人税等合計	1,101,415	1,303,502
少数株主損益調整前四半期純利益	1,520,490	1,774,483
少数株主利益	198,000	184,090
四半期純利益	1,322,489	1,590,393
少数株主利益	198,000	184,090
少数株主損益調整前四半期純利益	1,520,490	1,774,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,321	5,641
その他の包括利益合計	14,321	5,641
四半期包括利益	1,534,811	1,780,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,342,581	1,592,315
少数株主に係る四半期包括利益	192,230	187,810

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	<u>19,646,317</u>	21,732,444	<u>41,378,761</u>	—	<u>41,378,761</u>
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	70,969	822,274	893,243	△893,243	—
計	<u>19,717,286</u>	22,554,719	<u>42,272,005</u>	△893,243	<u>41,378,761</u>
セグメント利益	<u>2,214,005</u>	561,765	<u>2,775,771</u>	1,485	<u>2,777,256</u>

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	<u>21,015,880</u>	23,763,229	<u>44,779,109</u>	—	<u>44,779,109</u>
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	240,223	823,957	1,064,181	△1,064,181	—
計	<u>21,256,103</u>	24,587,187	<u>45,843,291</u>	△1,064,181	<u>44,779,109</u>
セグメント利益	<u>2,484,384</u>	607,019	<u>3,091,404</u>	1,975	<u>3,093,379</u>

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません